

2024年度 神石高原学園 神石インターナショナルスクール 教育課程特例校評価(自己評価)

	評価項目	確認ポイント	実施状況・改善内容
日本語と英語によるイマージョン教育	実施体制	カリキュラムや全体運営、クラス運営を適切に進める体制がとれているか	- 進学委員会(Future Meeting)を設置し、学級担任が児童一人ひとりの進学に適した具体的な英語指導を相談できる体制を構築。外部テストも活用し、客観的に学力や能力を把握。- 英語は授業だけでなく、生活の中で自然に使えるよう、寮生活や校内活動、インターナショナル教員やインターンとの交流機会を意図的に設計。児童が自発的に英語を使う環境を整備。- ハウスペアレントの勤務を夜間・早朝中心から日中中心に変更し、学校教員と連携して児童と関わる時間を増やす体制を構築。- 学習指導要領とIPCの要件を満たす授業時数・内容を整備。図工・音楽・体育・道徳・家庭科など情操教育や技能系教科を充実。1学級2担任制、ハウスペアレント、学習支援員、サポートスタッフによる多職種連携でカリキュラムの一貫性を確保。- 新任教員や家族へのサポートを強化し、全寮制小学校特有の環境理解を深める研修を実施。安心して教育活動に取り組める体制を整備。
	指導計画及び授業の内容	指導計画が適切に策定、実施できているか	- 英語での生活科、理科・社会の一部、総合的な学習を学習指導要領に照らしつつIPCで実施。教務担当が指導計画を調整し、大きな齟齬のない授業を実施。目的や内容、時数に不備がある場合は週末プログラムで補完。- 2025年11月にICAからIPC校正式認定を受けるための学校環境を整備。
		授業は円滑に運営できているか	- 1学級2担任制で実施。専科教員を配置し指導の専門性向上。 - 日本語教科は検定教科書を使用して授業をしている。理科、社会、音楽、体育などはIPCとの統合を目指し総合的学習の形を目指しながら実施 - インターン(海外大学卒)を雇用し、児童の英語力向上と英語使用機会の提供。 - 算数は英語と日本語のバイリンガルで指導。算数教員が必ず2名入り、レベル別・言語別の手厚いサポートを実施。
	児童への教育上の配慮等	入学時における対応は適切か	- 全寮生活を前提に、入学・編入前から保護者と連携し、カリキュラム理解を得たうえで情報共有。- 体験入学やサマーキャンプで児童が学校生活を確認できる機会を提供。- 編入希望者には学年相応の英語力を確認し、学校で生活・学習する意欲を重視。
		特別活動の充実	- 入学式、卒業式、運動会(Sports Day)、コンサート、学習発表会など1年の行事が整えられたことによって、子供たちが見通しを思っ学校活動にさんかするようになった。 - 委員会活動を充実させることで、児童が学校を動かす運営者の一員として意見を持つようになった。高学年は低学年への手本となり、寮生活においても食事や保健などを互いに意識するようになった。
		JSL(第二言語としての日本語)	- 英語をネイティブとする児童が入学した際、日本語にも馴染めるように国語の時間を取り出しの日本語の授業とし、本校での生活をスムーズにするように教員を配置した。
		ESL(第二言語としての英語)	- 主に本校に途中編入してきた児童向けに初級英語を実施。英語で英語を学ぶことに慣れるまで実施される。インターンとの会話や宿題の実施などで徐々に英語を導入している。
		カウンセリングサポート	- 学習や生活に困難が見られる児童に対し、カウンセラーへの相談のち、保護者と相談してWISCを実施し、ケース会議を持ち、その児童を担当するすべての教職員が共通の意識で指導に取り組めるようにした。
	情報提供の状況	学内外に実践状況を紹介、情報共有につとめているか	- ホームページ・パンフレットで実践状況を紹介。- 学校説明会で本学の目指す教育を共有。- 保護者への教育説明・実践報告を実施。- 国内外の見学・視察に対応。
	実施による効果	特別の教育課程の編成・実施により目的に対する効果が表れているか	- 算数・理科等の用語を英語で教科を学ぶことに対して自然に取り組めるようになってきている。 - Gap Year Students(海外インターン)が英語で外遊びやゲーム・本などを紹介する時間を作り、英語に親しむことができています。 - Safeguardingや思春期児童への対応を含め、インターナショナルも日本人も共通の児童の発達理解を持った指導が取れるように研修を行う。
その他	その他	- 本校への勤務は通常の学校とは異なる勤務であることから、全寮制の初等教育への理解を求めるところから始まる。特に英語の教員により良い候補者を募るため、採用ホームページについても変更。 - 本校への勤務をスタートする教職員に対し、コミュニティに慣れてもらうためのサポートや研修を計画。	